

23品目
2008年
(平成20年)3月現在

太陽の恵みいっぱい特集 ふくやまSUN

シンボルマークは「ふくやまSUN」。SUNとは、「太陽」「福山産」「呼称のさん」。これに限らず、福山市にはたくさんの特産品がある。

「ふくやまSUN」
ふくやま産ブランドは、
現在23品。
増やしていきます！

「ふくやまSUN」のマークがついた農産物は、ふくやまブランド農産物推進協議会が、適切な栽培基準で生産され、栽培履歴が確認できると認定した、新鮮・品質・おいしさ・安全性を備えた地場農産物。安心して、おいしく召し上がれ。



全23品目

ほうれんそう	なす
いちご	金時にんじん
こまつな	くわい
しゅんぎく	ぶどう
みずな	かき
細ねぎ	キウイフルーツ
きゅうり	あんず
アスパラガス	すもも
たまねぎ	いちじく
しょうが	もも
青大きゅうり	ブルーベリー
ぞれの旬の時期	生しいたけ
をリサーチして、	
おいしく味わっていただきたい。	



このマークを探して！

シンボルマークの愛称は、「ふくやまSUN」。年間日照時間が長い福山市で、太陽の恵みをいっぱい受けた農産物をイメージし、農産物を緑色の「ふくやまSUN」で、大地を茶色の線で表現している。それぞれの旬の時期をリサーチして、おいしく味わっていただきたい。



くせのないさっぱりとした風味が特長。葉緑素には浄血作用もある。

福山市の
おすすめ食材は？

■ 全国シェアNO.1を誇るくわいはとても栄養素が豊富で、豆に匹敵するくらいのタンパク質や老化防止に期待がもてるビタミンEも含まれているので、ぜひたくさん的人に知りたい食材。そして、今、私が押しながらのが水菜。水菜にはビタミンA、ビタミンCなどが含まれており、美肌に効果的。水菜は手軽に調理でき、サラダ、パスタ、シチュー、カレーに入れててもおいしく、幅広く使える食材。実は緑黄色野菜で栄養豊富。ビタミンAは粘膜強化、ビタミンCは疲労回復の効果もあります。また、福山は日照時間が長く、おいしい果物づくりにも適しています。今後も野菜・果物の魅力を伝え続けることで、毎日の食生活をより豊かで楽しい空間にしていくような提案を発信していく



生しいたけ
ミネラルや食物繊維に富む低カロリーの健康食品。ビタミンB、Dも豊富。



なす
紫紺色はアントシアニンと呼ばれ、コレステロール値を下げ、動脈硬化を防ぎ、がんや老化を抑制する。

福山市の特産品は、栄養素が豊富に含まれた食材がたくさん。それを知って食べるとおいしさも違いますよ。

野菜ソムリエ/
ベジフルビューティーアドバイザー
安原 ルリ子さん

福山市生まれ、福山市育ち。夫の転勤を機に東京へ。育児休暇中に資格を取得し、野菜と果物の持つ栄養・調理法などを生かした、効果的で持続的な「内外美容」を提案する野菜ソムリエ、日本初のベジフルビューティーアドバイザーとして活動中。



安原さん
伺きました！

日本の季節と
おいしい関係

日本には四季があり、私たち日本人は季節や身体の変化に合わせ、旬の野菜・果物を食することで、意識して食べる事が大切。食に

よって体はもちろんのこと、ビタミン・ミネラルたっぷりの野菜を食べることは、食生活そのものを充実させることになり、人生そのものが変わってくるのではないかでしょうか。野菜にはさまざまな栄養効果・形・色があり、肉・魚だけだと単調になります。卓上に栄養バランスはもちろん、彩りとおいしさの視覚効果を与えます。

ふくやまSUNの野菜・フルーツ以外にも

まだあります!
**特
産
品
!**



のり

明治から養殖されており、板のりをはじめ、のりの佃煮等の加工品もある。



い草製品

円座など、備後い草を手編みで丁寧に仕上げたもの。表皮が厚く、色が美しい草を厳選して使用。

ちりめんじゃこ

6月から12月にかけて漁を行なう、シラスをすばやく炊きあげ乾燥させた健康食品。



菊

バイオテクノロジーを活かして新しい品種を作り出し、年間800万本以上の出荷がある。



スライスして揚げたくわいチップスと小粒なくわい(こつぶちゃん)の唐揚げはお孫さんの大好物だとか。くわいの唐揚げは小学校の給食にもなっている。



枝広さんはスタンダードなくわいの煮物が好物。



くわい生産者
枝広 義春さん



めでたい
くわい

「味」が自慢の
ぶどうを召し上がる

沼隈町果樹園芸組合



ぶどう

ミネラルが多く、抗酸化性、発がん予防、抗アレルギー性、血压調節、コレステロール調節、整腸作用に優れている。

主に出荷される品種は、「ニューベリーA」、「ピオーネ」など。種なしで、糖度が高く甘い。ほどよい酸味がありのも特長。一房ずつ、真心込め栽培しています。

いち早く市場に出るので、ぜひ味わっていただきたい。



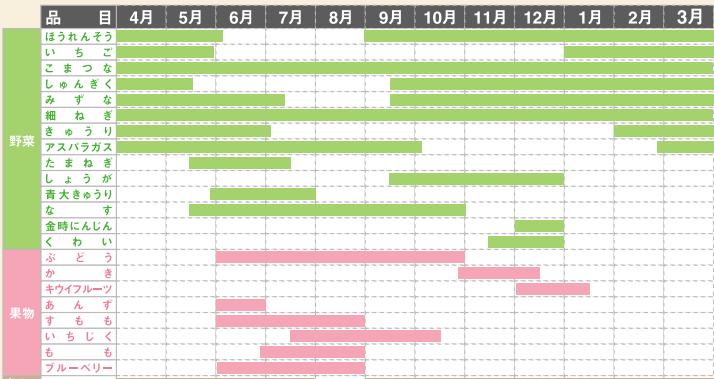
芽
が
出
る

田んぼのサファイアといわれ、芽が出る姿と芽の鋭さから縁起物で、正月のおせち料理などに利用されます。気候が温暖であることが、栽培に適しています。収穫は最終的には手作業。冬の田んぼで作業していると、よく近所の人々が応援してくれます。



ビタミンB1、B2、ミネラルが豊富で、身体の調子を整え、独特の苦味成分には発がんを抑制し、免疫力を高める効果があるともいわれています。

ふくやまブランド農産物出荷時期



ふくやま産、おいしいレシピ
レシピ考案 安原 ルリ子さん

くわいと鶏の簡単さつぱり煮

a

ポイント 鍋1つに調味料を3種類混ぜて煮るだけの簡単レシピ。くわいのホクホク感が楽しめる。お酢を使うのでヘルシーでさらぱり。

材料 (2人分) くわい180g(6個程度)、鶏もも肉1枚、米とぎ汁鍋に2分の1程度

a さくらんぼ大さじ4、しょうゆ4分の1カップ(50cc)、酢4分の1カップ(50cc)



⑦ 最後に鶏肉の皮を下にして、ささに10分煮る。



④ a の材料を混ぜ合わせ、鍋に入れ、くわい、鶏肉と一緒に入れる。(鶏肉は皮を下にして入れる)

③ 鶏肉に竹串などで穴を開ける。

② ①を水に10分ほど漬けた後、アコを取りため、米のとぎ汁で煮ておく。

① くわいは芽を1cmくらい残し、根元から芽に向かって皮をむく。

a さくらんぼ大さじ4、しょうゆ4分の1カップ(50cc)、酢4分の1カップ(50cc)



強火で煮立てる。沸騰したら弱火にして、3分ほど煮る。

⑥ 鶏肉の皮を上にして、ささに10分煮る。



④ a の材料を混ぜ合わせ、鍋に入れ、くわい、鶏肉と一緒に入れる。(鶏肉は皮を下にして入れる)

③ 鶏肉に竹串などで穴を開ける。

② ①を水に10分ほど漬けた後、アコを取りため、米のとぎ汁で煮ておく。

① くわいは芽を1cmくらい残し、根元から芽に向かって皮をむく。

a さくらんぼ大さじ4、しょうゆ4分の1カップ(50cc)、酢4分の1カップ(50cc)